事業概要シート

施策	0301	歴史・文化の保護・活用・継 承			≪≫の金額	*	補正予算要求時に	5算、前年度繰越額の合計 は今回の補正予算額を除く 時は次年度繰越額を除く		
事業名	歴史資料館整備事業			現状維持		予算額			円田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	
——————— 事業期間	수 1	———— 116年度	~ 4		丘 度	財	国庫支出金	"	千	円
于不利时				13714 1 2	T/X	源	県支出金		千1	
根拠法令	博物館法	₹ Ĕ史資料館条	・ 仮川			内	地方債			_
要綱等		- 人只介印不	. ניעו			訳	その他 一般財源		<u>千</u> [0 千]	_

【事業の目的・概要・対象】

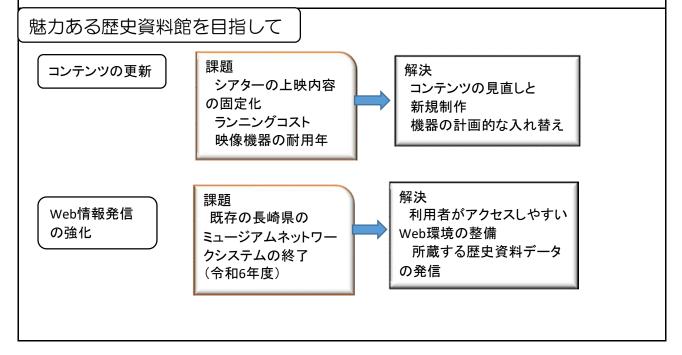
目的

コンテンツやHPの改修を行うことで、魅力ある情報発信を行い、大村の魅力を伝える歴史資料館の機能を充実を図る。また、展示室や収蔵庫の環境整備も行う。

内容

歴史資料館のコンテンツ、映像機器の更新、HPでの情報発信の強化を行う。

- 〇シアターコンテンツの制作
 - 開館以来2コンテンツを上映しているが、これを見直し、新規コンテンツを制作する。
- 〇映像機器の更新
 - 設置から5年を経過するため、耐用年数や新規コンテンツの導入状況を勘案し、更新を行っていく。
- 〇リニューアルしたHPでの情報発信 独自サーバによる新しいHPにおいて、収蔵資料や展示会の情報発信を強化する。



【指몸】

歴史資料館シアターコンツについて、現在、映画とデジタルコンテンツの2つで運用しているが、新たなコンテンツの導入など見直しが求められており、市議会にも令和6年度から8年度を目途に見直すと説明している。シアターや展示室の映像機器も、設置から5年が経過することもあり、耐用年数も勘案し計画的に更新していく必要がある。

リニューアルを行ったHPでは、収蔵資料データの管理・更新を継続して行い、展示会や所蔵資料などの情報発信を強化していく。

担当課	教育委員会文化振興課(歴史資料館)	課長	今村 明
担当者	山下 和秀	問合せ先	歴史資料館 48-5050

事業概要シート

【活動指標】

指標名				R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
1	コンテンツ制作本数	計画値	本	0	0	0	1	0
2	データ移管	計画値	%	0	100			

【成果指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
1	シアター入場者数	計画値	人	22, 918	25, 000	25, 000	25, 000	28, 000
2	事業進捗率	計画値	%	0	4	8	78	83

【予算・決算】(千円)

事業費は当初	• 繰	越•	補正	予算	の合	計	額
--------	-----	----	----	----	----	---	---

E 3 31 10 131 Z	\ I I • /						
年度	R 4	R 5	R6	R 7	R 8	R 9	合計
事業費	0	0	3, 850	0	43, 670	25, 000	72, 520
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源			3, 850	0	43, 670	25, 000	72, 520
人件費	0	0	3, 836	3, 836	3, 836	3, 836	15, 344
職員(人)			0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	2.00人
時間外勤務(h)			100h	100h	100h	100h	400h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	7, 686	3, 836	47, 506	28, 836	87, 864

妥当性 (市の関与)	市の施設のコンテンツやシステムであり、市が行う必要がある。
有効性 (施策貢献度)	魅力あるコンテンツや情報を提供することは、歴史・文化の活用や継承に有効である。
効率性 (コスト)	今後、機器の耐用年数等を踏まえつつ、全体の交換計画を精査して、コストの平準化を検討 していく。

1次評価	歴史資料館のコンテンツや環境を充実していくことは、歴史・文化の継承や地域学 習に必要であり、継続して取り組む必要がある。
2次評価	1次評価のとおり